

NPO関西事業再生
支援センターだより

大阪の
中小企業を
元気に!

>271<

30年以上もパソコンを使っていると感じることもありますが、IT技術の進化はいつも目を見張るばかりです。最近はいPhone・androidなどのスマートフォンや、iPadなどの情報端末の普及が急速に進んできて、ITとは縁の遠かった78歳の私の父でもiPadを使うくらいです。時代もほんとうに大きく変わりました。

そして、この情報端末の急速な普及のおかげで、今までパソコン上でしか考えられなかったことや、パソコンでもできなかったことができるようになってきました。その一つが、携帯アプリによる地域の活性化への取り組みです。今回は、このお話を書きます。

これまでは、ホームページ(HP)で地域の良さを素晴らしい情報発信はできて、旅行先や

外出先ではパソコンがないので情報を取り出すことができません。携帯電話ではHPを見るのも画面が小さく見にくくて大変でした。ところが最近、iPhone・android、iPadなどの情報端末が急速に普及し、多くの人たちが情報端末を駆使して、簡単に情報を得られるようになりました。

しかし、地域情報発信のための「地域アプリ」の制作には、アプリやHPの作成、そしてそれに必要な機能を組み込んだシステムを作るためには、約1千万円程度の投資が必要でした。そのため、地域の商店街などが地域アプリを作るには負担が大きく、簡単には導入できませんでした。

でも時代は変わり、技術革新によってアプリの開発費用は劇的に下がりました。大変安価にアプリを制作することが可能になってきました。実際に弊社ではスマートフォン用

のアプリの制作費が100万円を切り、商店街などの小さな組合が地域アプリを導入しやすくなってきています。たとえば地域アプリの導入費用が50万円として、商店街の組合員が100人いれば、各組合員たったの5千円で地域アプリの導入が可能です。そうすれば、今までお店のHPを作成しようと思っていた方でも、その商店街アプリのおかげで数十万円のHPを作成する必要がなくなります。そう、二次的な効果も出せて、見ただけのHPと違って、アプリユーザーに「プッシュ通知(お知らせ通知)」もできます。リアルで新鮮な情報がいっつも発信できるので、そういった在庫食材分やタイムセールの通知はぴったりです。さらに雨の日の客足が鈍いときには緊急特売セールを行ったりして、集客のこ入れもできます。

Webマーケティング戦略2

必要がなくなりません。それでいて、いつでも安価

にお店の情報発信ができるようになります。おま

それから携帯アプリは、見るだけのHPと違って、アプリユーザーに

時代は刻々と変わり、ITの進化のおかげで、地域活性も地域再生も少額の費用で取り組める時代です。諦めることなく、さまざまなアプリで地域をよみがえらせる取り組みをされてはいかがでしょうか。

またさまざまな機能を付け加えることもできます。アプリにリアルタイム情報発信機能を付け加えれば、タイムセールなどの情報発信も簡単に行えます。たとえば、翌日休業の生鮮野菜店や居酒屋

屋などの飲食店は、できれば閉店時間までに在庫を売り切ってしまうところ。そういったときには、閉店2〜3時間前に残っている商品の大幅割引情報を発信すれば、アプリを見たお客さんが安くなったものを狙って買いにきます。そうすれば、きれいに在庫をさばり、休日明けでも常に新鮮で新しい商品を提供できます。さらに、常に新鮮な商品を提供できるという評判が評判を生むとい

取締役、本間文也

(NPO関西事業再生支援センター、エックスアイティー株式会社代表)